

**上越ケーブルビジョン**  
**令和7年度**  
**第2回 FM みょうこう放送番組審議会 議事録**

開催年月日 令和8年2月2日（月）14：00～15：00  
開催場所 上越ケーブルビジョン J-pit 会議室  
出席者 委員数5名  
審議委員 松木成徹委員長、石川ひとみ副委員長、打田亮介委員、塚田歓太郎委員、寺島琴音委員  
JCV メディアセンター担当取締役・部長 沢田真紀  
メディアセンター課長代理 鶴見幸恵、メディアセンター 八木一茂

- 1 開会
- 2 挨拶 上越ケーブルビジョン 担当取締役部長 沢田真紀
- 3 議題
  - (1) 番組について
    - (a) 瀬谷佑介の我が家から
    - (b) 夢の途中
  - (2) その他
    - (a) 大雪の交通・気象情報について

4 議事の概要

(a) 瀬谷佑介の我が家から

概要 毎週土曜午後10時～、日曜午前6時～放送。今年3月で10年を迎える番組。パーソナリティの瀬谷さんは埼玉から上越へのIターン移住者。農業を生業として、春から秋は山の家で、冬は里に下りてきて生活、音楽活動もしている。1年を通しての生活のエピソードやおもいを言葉で語っている。番組内の曲はすべて瀬谷さんのオリジナル曲。まさに「我が家」からお送りする番組。

(b) 夢の途中

概要 毎週土曜午前6時～、日曜午後8時～放送。夢に向かって頑張る人、ある程度何かを成し遂げた人などにインタビューする番組。放送開始から10年で、340人を越える方々に出演いただいた。今回はセラピストの上越市在住の折原紀代美さんが出演。マッサージの世界大会プロモーション部門で優勝、そこまでの道のりやこの先のやりたいこととお聞きした。  
この番組からテレビの生放送番組「Jump」への出演へとつながるケースも。

## 5 審議内容

## (1) 番組について

## (a) 瀬谷佑介の我が家から

- ① (審議委員) 地域の魅力を再発見してもらえそうな番組。ほかの人(地元以外の人)の目から見て地域の魅力を気づいてもらえると良い。家の中にスタジオがあるのか。耳元でささやいているように感じる。
- (事務局) 家の中にマイクを立てて風の音、蝉の声など周りの音をあえて入れながら録音している。
- ② (審議委員) 瀬谷さんの名前は知っていて、お会いしたいと思っていた。瀬谷さんの思いや歌が聞けるので、ある意味とがっていい番組だと思った。
- ③ (審議委員) 日常の一コマのように、ゆったりして聞き心地がよかった。
- ④ (審議委員) 仕事の合間にきいた。(ほかの番組と) 雰囲気違って、過ごしたことの無い時間だった。聞きごたえがあった。
- ⑤ (審議委員) 瀬谷さんを知らなかったなので、どんな方なのか疑問が残った。つかめないまま終わってしまった。瀬谷さんのバックボーンを知らない謎が多いが、情報があると魅力が伝わってくる。

## (b) 夢の途中

- ① (審議委員) 上越地域でこんなに頑張っている人がいるのだとわかった。若い人にぜひ聞いてほしいし、これを聞いて出演したい人が増えると良い。
- ② (審議委員) 折原さんを初めて知った。頑張っている人の話は、事業をやっている身としてはエネルギーをもらえる。出演される人はどうやって探しているのか。
- (事務局) いろいろな方にお声がけをさせていただくケースや、出演された方のつながりでご紹介いただくケースがある。
- ③ (審議委員) チャレンジ精神と行動力がすごいと思った
- ④ (審議委員) わたしもがんばらなければと思わされた。聞くともっと興味がわき、知りたくなる番組。インスタなども調べた。
- ⑤ (審議委員) 挑戦している、実績をだしている人がこんなにいることで、上越地域の可能性を感じることができた。300人以上の出演者をよく見つけてこられたなと驚いた。出演者をみつけ、番組として10年間続けていることに頭が下がる思い。こういった人をもっとみんなに知ってもらうために、もう一歩何かあれば、より上越のみんなが可能性を感じるきっかけになりそう。

## (2) その他

## (a) 大雪の交通・気象情報について

この地域では大雪も災害の1つととらえられる。放送では細かい情報を集め、できる限り朝昼夕の生放送で丁寧にお伝えしている。第三者の耳で伝え方や、こんな情報がほしいという意見があれば随時いただきたい。

6 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

①事務所への備え置き

②FM みょうこうホームページ (<https://fm-myoko785.jp/>) への掲載

7. 閉会